

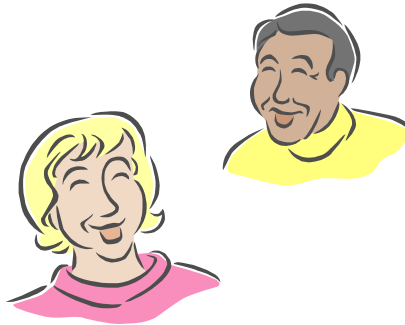
13-1 新しいかん字 (童・幸・福・央・横・宮)



童話

どう わ

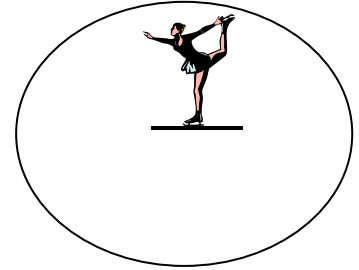
นิทาน



幸福

こう ふく

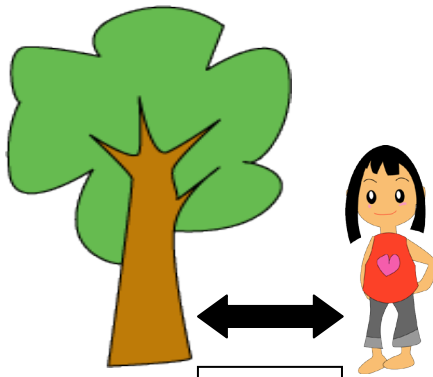
มีความสุข



中央

ちゅう おう

ศูนย์กลาง



横

よこ

ข้าง ๆ



王宮

おう きゅう

พระราชวัง





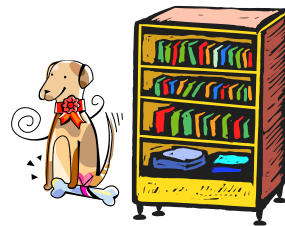
13-3 書けるかな？ (童・幸・福・央・横・宮)

	一	十	土	土	土	土	土	音	音	音	音	童	童	童
童	童	童												
	一	十	土	土	土	土	幸	幸						
幸	幸	幸												
	福	福	福	福	福	福	福	福	福	福	福	福	福	福
福	福	福												
	央	央	央	央	央									
央	央	央												
	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横
横	横	横												
	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮				
宮	宮	宮												

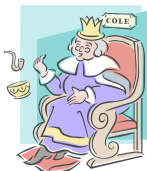
13-4 読んでみよう!書いてみよう! (童・幸・福・央・横・宮)

● ( ) の 中 に ひらがなで かん字の 読みかたを 書いて ください。

① 本箱の <sup>ばこ</sup>横 ( ) に 犬が います。



② 王宮 ( ) には、  
王さまが すんで います。



③ おかし、幸福 ( ) な王子さまがいました。

④ お母さんは、ねる 前に 童話 ( )  
を 読んで くれます。



⑤ 公園の 中央 ( ) に ふん水が あります。

ふん水: น้ำพุ



● □ に かん字を 書いて ください

① <sup>どう</sup> <sup>わ</sup>  
□ □ を 読みます。



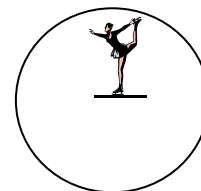
② <sup>おう</sup> <sup>きゅう</sup> に <sup>こう</sup> <sup>ふく</sup> <sup>おうじ</sup>  
□ □ な王子が いました。



③ <sup>よこ</sup>  
□ □ の ながさを はかります。



④ リングの <sup>ちゅう</sup> <sup>おう</sup>  
□ □ を すべります。



## 13-5 つぎの 童話を 読みましょう。(童・幸・福・央・横・宮)

## ● つぎの 童話を 読みましょう。



## 幸福な <sup>おうじ</sup>王子 王子：เจ้าชาย

あるところに、うつくしい王子がいました。でも、王子は病気になるてしにました。町の人たちは、<sup>ひろば</sup>広場の中央に「幸福な王子」のどうぞうをたてました。王子のどうぞうは、<sup>きん</sup>体は金色でした。目は、<sup>せき</sup>ほう石でした。どうぞう：รูปปั้น      ほう石：อัญมณี      金：ทอง

つばめがとんできて、王子のどうぞうのかたととまりました。王子は、ないていました。つばめは、びっくりしました。王子は、言いました。「王宮にいたときは、幸福でした。でも、王宮の外のことには知りませんでした。でも、今ここから王宮の外を見ると、かわいそうな人がたくさんいます。わたしの目に入っているほう石と、わたしの体の金をかわいそうな人たちにあげてください。わたしは、どうなっても、いいのです。」

つばめは、王子の<sup>せき</sup>体のほう石と<sup>きん</sup>金を苦しんでいる人のところへもっていきました。たくさんの人をたすけることができました。

そして、その後つばめは、寒さのため、しんでしまいました。王子は、目がなくなり、体もきたなくなりました。町の人たちは、どうぞうがきたなくなつたので、すてることにしました。

王子の体と、王子の足の近くでしんでいたつばめの体を火でやきました。でも、王子の<sup>しん</sup>心ぞうと、つばめの体は、どうしてももえませんでした。心ぞう：หัวใจ

神さまは、王子の心ぞうと、つばめの体を、<sup>てんごく</sup>天国に持って行きました。神さま：เทพดา      天国：สวรรค์

オスカー・ワイルド「幸福な王子」より